

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	進行がんにおける body mass index 補正下腿周囲長と生存期間に関する研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	緩和ケアセンター 助教 坂口 達馬
研究の対象となる方	2019年4月から2023年3月の間に当院に入院して緩和ケアチームがサポートした成人の担癌患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>下腿(ふくらはぎ)周囲の長さは慢性疾患を有する患者さんの生存期間と関連することが知られています。ただし、body mass index (BMI ; 体重 kg を身長 m の二乗で除した数値) が 25 を超える場合は補正した数値で判断した方が良いとされます。ただし、アジア人の担癌患者さんで補正を行った方が良いのかどうかについては検証されていません。そこで本研究では、BMI で補正した下腿周囲長が担癌患者さんの生存期間と関係するか調査することを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>下腿周囲長やBMIなど身体計測値、握力など機能的評価、および患者さんの安否などの医療情報を統計学的に解析し、学会報告および学術誌への論文投稿に利用します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢・性別・入院時の栄養学的指標、検査値、転帰などを収集。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年4月30日までに郵送、電子メール、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 緩和ケアセンター（担当者:助教 坂口達馬） 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 23845) E-mail: sakaguchi.tatsuma.430@mail.aichi-med-u.ac.jp